

第66回日本産科婦人科学会学術講演会

理事長推薦企画

ギネジョの底力、ギネメンの胆力

2014年4月19日（土）15時～17時 第5会場：ホールB5(1)

司会：片瀨秀隆（熊本大学），清水幸子（亀田総合病院）

ギネナビ ～キャリアアップライフを応援します～



本田智子助教（熊本大学）

履 歴：1999年 熊本大学卒業

自己紹介：学生実習でマウスの体外受精に関わって以来、産婦人科一筋です。2012年4月より2年間、産科病棟主任を務めました。趣味は家呑み、4人の子供とじゃれながらお酒を飲み一日の疲れを癒しています。



米田 哲講師（富山大学）

履 歴：1996年 富山医科薬科大学卒業、1998年 愛育病院、2000年 鹿児島市立病院新生児科

自己紹介：産婦人科医の妻と机を並べ、大学病院で奮闘しています。男性の育児休暇を富山大学医学部で初めて取得し、その経験が今の立場（医局長）に役立っています。



安彦 郁助教（京都大学）

履 歴：2000年 大阪大学卒業

自己紹介：婦人科腫瘍の臨床と、卵巣癌と免疫に関する研究をしています。家族は4歳の息子と、会社員の夫。趣味はチェロ演奏です。臨床と研究と家庭と趣味、どれもあきらめたくないと思っている、よくばりです。



永田知映助教（東京慈恵会医科大学）

履 歴：2001年 大分医科大学卒業、2010年 米国Emory大学 School of Public Health 卒業（公衆衛生学修士号取得）

自己紹介：主流派ではないけれど、希少価値が高められるキャリアパスを目指しています。米国で得た資格を活かした活動を模索中です。夫（集中治療医）と子供2人がいます。



中山健太郎講師（島根大学）

履 歴：1996年 東京医科大学卒業、1998年 東北大学加齢医学研究所、2004年 Johns Hopkins大学

自己紹介：専門は婦人科腫瘍学、ライフワークは卵巣癌発生機構の分子生物学的解明とその臨床応用。趣味はサッカーと水泳。元内科医の妻は基礎研究者、娘はバレリーナ志望。

ラウンド・テーブル

進行：奥田美加（横浜医療センター）

先輩から若い世代へつなぐギネライフ ～遺産と未来～

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会

2014 年 4 月 19 日〔土〕 第 5 会場 ホール B5 (200 名収容) 15:00~17:00

理事長推薦企画 「ギネジョの底力、ギネメンの胆力」

コーディネーター：熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学教授 片渕秀隆

亀田メディカルセンター主任産婦人科部長 清水幸子

1. はじめに (5分)
2. 理事長推薦ステートメント (5分) 日本産科婦人科学会理事長 小西郁生
3. 若き専門医たちの心意気 (10分) 獨協医科大学産科婦人科教授 北澤正文
4. ギネナビ ～キャリアアップライフを応援します～ (60分)
 - ① 本田智子 (1999 年卒業)
 - ② 米田 哲 (1996 年卒業)
 - ③ 安彦 郁 (2000 年卒業)
 - ④ 永田知映 (2001 年卒業)
 - ⑤ 中山健太郎 (1996 年卒業)
5. 産婦人科医たちの希望の轍 (10分) 日本産科婦人科学会幹事長 澤倫太郎
6. ラウンド・テーブル (25分) 進行：独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
産婦人科部長 奥田美加
先輩から若い世代へつなぐギネライフ ～遺産と未来～
7. おわりに (5分)

企画：日本産科婦人科学会男女共同参画・女性の健康週間委員会